

# 前立腺の放射線治療を受けられる方へ



江戸川病院 東京江戸川がんセンター

このたび放射線治療を受けるにあたり、わからないこと・不安・心配なことがおありかと思えます。そのような疑問・質問にお答えできればと考えこのパンフレットを作りました。放射線治療を始める前にぜひお読みになってください。

放射線治療は、日常生活上のケアや注意事項を患者様やご家族にご理解、実践していただくことで、より大きな効果が期待できます。

そしてなによりも患者様の身体的、精神的な負担の軽減が可能になります。

放射線治療中は、生活のリズムと体調を整え毎日の通院に臨みましょう。

また、治療が開始されると毎日問診票を記入していただいております。

この問診票は治療を受けられる患者様の不安や疑問、普段聞きにくい事など記入していただき、その都度対応させていただきます。そして、今後の診察につなげて行きたいと思っておりますので、ご協力お願い致します。

## 連絡先

■江戸川病院 放射線治療室

TEL. 03-3673-1221（内線 1731）

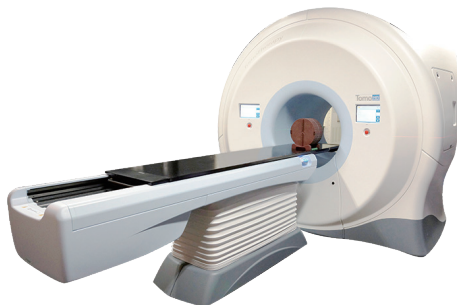
## 今後の予定（放射線治療に至るまで）

	<p>準備</p>	<p>これまで行った診断のための画像検査とは違い、どの部分にどれだけの線量を照射するかという治療計画を画像上決定するための撮影です。</p> <p>膀胱に尿を適度に溜め、膀胱を膨らませた状態で撮影します。</p> <p>CT撮影の『 60分・90分 』前には排尿排便を済ませてください。</p> <p>食事については通常通りとってください。また、溜めるからと水分を控えたりせず、通常通りに飲水して下さい。</p> <p>お薬を服用している方は、通常通り服用して下さい。</p>
<p>／</p>	<p>CT撮影</p> <p>:</p>	<p>来院されたら、診察券を再来受付機にお入れください。27番へお越しください。</p> <p>CT前に実際の尿量をエコーで確認します。担当の者が放射線治療室に案内します。</p> <p>*エコーにて尿量を測定⇒ CT撮影</p>
<p>／</p>	<p>MRI撮影</p> <p>:</p>	<p>CT検査時、マジックでお腹に位置の基準となる「しるし」をつけます。</p> <p>お風呂に入っても構いませんが、お腹の「しるし」はゴシゴシ擦らないでください。</p> <p>「しるし」がお洋服にうつる可能性もありますので、服装には気をつけてください。</p>

	<p>《治療説明》</p> <p>CT 撮影後に説明日をご案内致します。</p> <p>:</p> <p><u>記入した同意書をご持参ください。</u></p> <p>オシッコをためる必要はありません。</p>	<p>毎日の治療時間の予約、顔写真の撮影、お腹の“しるし”の確認を致します。同意書がないと治療を始めることができない場合もあります。</p>
	<p>照 射</p>	<p>《治療開始》</p> <p>放射線治療は、連続して行うことで効果を発揮します。治療は、平日は毎日行い、(土)(日)(祝)はお休みです。</p> <p>＜治療を受ける際は、CTの時と同じような要領で、膀胱内に尿をためた状態で照射します。＞</p>

## \*クレジットカードについて

クレジットカードでのお支払いの方は①番窓口での手続きとなります。  
治療説明時にお知らせ下さい。



がん放射線治療システムトモセラピー

## 実際の治療の流れ

まず、照射方法を計算するために用いるCT検査とMRI検査を受けて頂きます。

その後、治療開始まで準備期間として1週間程頂いております。

この間に最適な照射方法を算出する作業と、計算結果が正確であることを人体模型などを用いて確認作業を行います。

放射線治療は1日に1回で治療に要する時間は着替えを入れて30分程です。

(毎回放射線治療の直前にトモセラピーに一体化されているCTにて位置確認をしていきます。実際に照射されている時間は10分程です。)

これを週5回(月～金曜日)毎日行っていきます。

(土・日・祝日は多分割照射による生物学的効果の為行いません。)

照射中は毎日尿を貯めていただきます。

◆**同意書**は治療開始までに必ず持ってきてください。**同意書**がないと治療を始めることができない場合もあります。

### \*\*\*お断り\*\*\*

トモセラピーは強度変調放射線治療の専用機として常に高出力で稼働している装置です。万全の管理体制をとっていますがときどき故障してビームが出なくなることが予想されます。その際には治療の時間変更のお電話やお休みのお願いをすることがありますので、誠に申し訳ありませんがご了承ください。

また取り違え防止のためフルネームのお呼び出し、お顔写真の撮影をさせていただいております。ご了承ください。

## 治療中にこころがけていただくこと

\*\*\*治療計画と毎回同じにするため\*\*\*

- 1 オシッコを溜めてください。
- 2 照射が終了するまではトイレに行かないよう気をつけてください。
- 3 毎日の排便をこころがけてください。

\*\*\*お身体に付けた“しるし”についてのご注意\*\*\*

- 薄くなってしまったら、油性マジックで上からなぞってください。
- 完全に消えてしまった場合、治療初日に新しく付け直しますので、そのまま結構です。

\*\*\*決められた回数の治療を受けましょう\*\*\*

放射線治療は決められた回数の治療を終えて、初めて治療の効果が現れます。途中で治療を中断すると効果が現れないばかりか、その後の治療に支障をきたすこともあります。決められた回数の治療を必ず受けてください。どうしても治療をお休みする必要があるときは必ずご連絡ください。

\*\*\*体調が悪い時は看護師等の治療スタッフにご一報ください\*\*\*

体調が悪くどうしても治療が受けられない、我慢できない場合は無理をせず、放射線治療室へ連絡し、看護師等に相談してください。担当医の診察日以外でも適時対応致します。

## 放射線治療中あるいは直後に予測される副作用

### <急性期反応>

#### 1) 尿道・膀胱の炎症：

- <頻尿> 尿の回数が多い  
特に夜間の尿回数が4回以上ある
- <切迫尿> 排尿した後、またすぐにトイレに行きたくなる
- <排尿時違和感> ムズムズした感じ
- <排尿時痛> 排尿時の痛み
- <残尿感> 排尿後もまだ残った感じがする

#### 2) 直腸・肛門の炎症：

- <残便感> 排便後も残った感じがする
- <下痢> 軟便が何回もある
- <肛門痛> ヒリヒリする感じ
- <排便痛> 排便時の痛み（もともと痔がある患者に多い）
- <出血> 排便後、トイレットペーパーに淡い色の血が付く

#### 1 排尿の変化（頻尿・切迫尿・残尿感）

治療の後半になると、排尿回数が増えたり、急にトイレに行きたいような症状が出る場合があります。これは粘膜が照射によってやかれ、ちょっとした刺激でも尿意を感じるためです。このような症状が強い場合はご相談ください。この症状は一時的で、治療終了後は徐々に回復します。

#### 2 便通の調整（下痢・頻便・出血・排便痛）

治療半ばよりお通じがゆるくなったり、回数が増えてくることがあります。もともと痔がある方や便が硬い方はそのせいで出血したり排便時の痛み（肛門炎）が強くてすることがあります。水分を多めに摂ったり、栄養バランスのとれた食事をこころがけ、規則正しく排便ができるようにしましょう。（痛みを感じる時は、自転車の運転・刺激物・アルコールは控えましょう！！）

### 3 おなかの張り（腹部膨満感）

ガスが溜まるとお腹が張ってきます。排ガスをこころがけましょう。

### 4 倦怠感

毎日の通院や照射の影響で少し身体が疲れやすくなったり、だるさを感じることがあります。可能であれば日中に休息をとったり、夜に十分な睡眠をとるようにしてください。

オシッコの回数があまりに多く眠れないという方はご相談ください。

体調の変化がない方は通常通りの仕事・生活で構いません。

普段行っている運動もいつも通り続けていただいて構いません。

### 5 皮膚炎（やけど）

照射部位の皮膚が炎症をおこす場合があります。

皮膚の赤み・かゆみ・痛み・皮膚の剥離などの日焼けに似た症状があります。治療中は皮膚の保護が必要です。

\*症状が出た場合や気になることがありましたらご相談ください。

医師・看護師が確認の上診察やお薬をお出しすることも可能です。



## 放射線治療後に時間をかけて起こり得る副作用

### <慢性期反応>

#### ①直腸・腸管出血

痛み（痔）がないのにダラダラ出血が続き治まらない等の症状が現れた時は、医師と相談の上検査を行うことがあります。また、抗凝固薬（血をサラサラにするお薬）を飲んでいる方はお知らせください。

#### ②慢性膀胱炎

#### ③血尿

#### ④尿道狭窄

#### ⑤勃起機能低下

治療後数か月から数年経って生じる身体の反応です。場合によっては長く続くことがあります。

- ◆ 治療が終了した後は、治療の効果や慢性期の有害反応を調べるために定期的に診察に入っていただきます。必ず受診するようにしてください。何か気になる様な症状がありましたらいつでもご相談ください。

## 治療が終わって・・・

治療終了後も病気の治療効果や副作用の有無を見るために、当院での定期検査・診察が必要です。放射線治療の効果は、治療期間中から徐々にあらわれ、治療終了後も続きます。一方、副作用は治療が終わってから出現するものもあります。そのため治療後の診察もとても大事です。治療終了後は、1～3ヶ月かけてゆっくりと治療前の生活に戻していき、定期的な診察も必ず入るようにしましょう。

※次回外来診察日は、主治医と相談して決めていただきます。

## おわりに・・・

放射線治療について、気をつけていただきたいことを紹介させていただきました。長い治療期間を無事に過ごせますよう、医師をはじめとする各スタッフが治療に当たりますので、ご協力をお願い致します。

ご不明なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



